土木工事における端数処理について

上段（カッコ）は、従来の設計書による端数処理の方法であり金額については、新システムとの比較のためのもので実際の計算額とは一致しません。

設計内訳書

工事名	○○通道路改良工事（路盤工・舗装工）	当　初	事業区分	道路新設･改築	主たる工種	舗装工事
			工事区分	道路改良	施工地域	○○○

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
道路改良 レベル１：工事区分		式	1		(4,301,000) 4,301,440			
道路土工 レベル２：工種		式	1		(42,000) 42,784			
掘削工 レベル３：種別		式	1		(42,000) 42,784			
掘削 レベル４：細別	土質：土砂	m3	150	187.8	28,170			
整地 レベル４：細別	土質：土砂	m3	150	97.43	14,614			
舗装工		式	1		(4,017,000) 4,017,420			
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装工		式	1		(4,017,000) 4,017,420			
表層(車道・路肩部)	材料種類：再生細粒度アスファルト、材料規格：再生合材混入率50【再生細粒度アスファルト混合物｜Ａｓ量７．５～９．５％　配合率５０％　車道用　】	m2	1,980	2,029	4,017,420			単-3号 概数
区画線工		式	1		(8,000) 8,936			
区画線工		式	1		(8,000) 8,936			

新システムでは金額については、工事区分・工種・種別・細別を円止（切捨）にいたします。

従来のシステムでは金額については、工事区分・工種・種別を千円止（切捨）細別について円止（切捨）にしていました。

設計内訳書

工事名	○○通道路改良工事（路盤工・舗装工）	当　初	事業区分	道路新設･改築	主たる工種	舗装工事
			工事区分	道路改良	施工地域	市街地

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
溶融式区画線	線種：破線、色：白線、幅：30cm、供用区分：供用区間	m	8	1,117	8,936			単-4号 概数
構造物撤去工		式	1		(232,000) 232,300			
運搬処理工		式	1		(232,000) 232,300			
殻処分	殻種別：ｱｽﾌｧﾙﾄ殻(車道部)、処分場所：○○建設管理部管内、運搬距離：○○km 【ｱｽﾌｧﾙﾄ殻処分費[地方資材単価]○○建設管理部管内　】	m3	101	2,300	232,300			単-5号 概数
直接工事費		式	1		(4,301,000) 4,301,440	直接工事費：円止（切捨）		
共通仮設費		式	1		(1,322,000) 1,322,783	共通仮設費合計：円止（切捨）		
共通仮設費(積上分)		式	1		(521,000) 521,783	共通仮設費（積上合計分）：円止（切捨）		
準備費		式	1		(3,000) 3,983	共通仮設費（積上分）：円止（切捨）		
立木・伐開物・伐根物運搬費	種類：伐根物、処分場所：○○建設管理部管内、運搬距離：○○km	t	1	3,983	3,983			単-6号 概数
安全費		式	1		(402,000) 402,800	共通仮設費（積上分）：円止（切捨）		

設計内訳書

工事名	○○通道路改良工事（路盤工・舗装工）	当　初	事業区分	道路新設･改築	主たる工種	舗装工事
			工事区分	共通仮設費	施工地域	市街地

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
交通誘導警備員Ａ[検定合格警備員]	交代要員：無し	人日	38	10,600	402,800			単-7号 概数
ｲﾒｰｼﾞｱｯﾌﾟ（率計上） 4,069,140× 2.85%	イメージアップの対象額は直接工事費（処分費等を除く共通仮設費対象分）＋支給品費（共通仮設費対象分）＋無償貸付機械等評価額になります。 対象額＝4,301,440－232,300＝4,069,140円				(115,000) 115,000	イメージアップ費：千円止（切捨）		
共通仮設費（率計上） 4,198,183×19.09%	共通仮設費の対象額は直接工事費（処分費等の占める割合、金額に応じ除く共通仮設費対象分）＋支給品費（共通仮設費対象分）＋無償貸付機械等評価額＋事業損失防止施設費＋準備に含まれる処分費になります。 対象額＝4,301,440－103,257＝4,198,183円				(801,000) 801,000	共通仮設費（率分）：千円止（切捨）		
純工事費					(5,624,000) 5,624,223	純工事費：円止（切捨）		
現場管理費 5,520,966×40.89%	現場管理費の対象額は純工事費（処分費等の占める割合、金額に応じ除く現場管理費対象分）になります。 対象額＝5,624,223－103,257＝5,520,966円				(2,257,000) 2,257,000	現場管理費：千円止（切捨）		
工事原価		式	1		(7,881,000) 7,881,223	工事原価：円止（切捨）		
一般管理費等 7,777,966×（19.4%＋ 0.04%）	一般管理費の対象額は工事原価（処分費等の占める割合、金額に応じ除く一般管理費対象分）になります。 対象額＝7,881,223－103,257＝7,777,966円				(1,508,000) 1,508,777	一般管理費：工事価格が万円止になるように調整	円止（切捨）	
工事価格		式	1		(9,390,000) 9,390,000	工事価格：万円止		
消費税相当額 9,390,000× 8%		式	1		(751,200) 751,200			
工事費計		式	1		(10,141,200) 10,141,200			
	7,777,966×19.44％＝1,512,036円　7,881,223+1,512,036=9,393,259円 一般管理費は端数処理前の工事価格の１万円未満の金額を除いた額のため 調整額を3,259円とし、一般管理費は1,512,036－3,259=1,508,777になります。							

共通仮設費

1	主たる工種　単独（当該工事）	舗装工事	
2	主たる工種　合算工事		
3	対象工事費	4,301,440	
4	直接工事費	4,301,440	
5	準備費（処分費）	0	
6	事業損失防止施設費	0	
7	対象工事費に含まれる処分費　単独（追加工事）	232,300	
8	現工事	0	
9	合算工事	0	
10	非対象額計（－）	103,257	
11	管理費区分１	0	橋梁、ＰＣ桁、門扉、ポンプ等購入費
12	管理費区分２，７	0	工場原価
13	管理費区分５	0	一般管理費等のみ対象額
14	管理費区分９	0	間接費非対象額
15	管理費区分Ｔ	103,257	全処分費のうち３％または３０００万円を超える額
16	対象額支給品（＋）	0	
17	無償貸付機械評価額（＋）	0	
18	共通仮設費対象額　単独（追加工事）	4,198,183	
19	現工事	0	
20	合算工事	0	
21	処分費等を除く共通仮設費対象額　単独（追加工事）	4,069,140	調整工事入力で使用
22	現工事	0	
23	合算工事	0	
24	共通仮設費（率分）　率（補正前）　単独（追加工事）	17.09%	
25	現工事	0%	
26	合算工事	0%	
27	施工地域等補正　単独（追加工事）	2%	
28	現工事	0%	
29	共通仮設費（率分）　率（補正後）	19.09%	
30	計上額　単独（追加工事）	801,000	
31	現工事	0	
32	合算工事	0	
33	調整工事計上額	801,000	

共通仮設費

34	イメージアップ経費対象工事費	4,301,440	
35	直接工事費	4,301,440	
36	非対象額計（－）	232,300	
37	管理費区分１	0	橋梁、ＰＣ桁、門扉、ポンプ等購入費
38	管理費区分２，７	0	工場原価
39	管理費区分５	0	一般管理費等のみ対象額
40	管理費区分９	0	間接費非対象額
41	管理費区分Ｔ	232,300	
42	対象額支給品（＋）	0	
43	無償貸付機械評価額（＋）	0	
44	イメージアップ経費対象額（Ｐｉ）　単独（追加工事）	4,069,140	
45	現工事	0	
46	合算工事	0	
47	イメージアップ経費　率（補正前）　単独（追加工事）	1.35%	
48	現工事	0%	
49	合算工事	0%	
50	施工地域等補正　単独（追加工事）	1.5%	
51	現工事	0%	
52	イメージアップ経費　率（補正後）	2.85%	
53	計上額　単独（追加工事）	115,000	
54	現工事	0	
55	合算工事	0	
56	調整工事計上額	115,000	
57	共通仮設費（積上分）	406,783	
58	運搬費	0	
59	準備費・仮設費	3,983	
60	事業損失防止施設費	0	
61	安全費	402,800	
62	役務費	0	
63	技術管理費	0	
64	営繕費	0	
65	イメージアップ経費	0	
66	共通仮設費計	1,322,783	

現場管理費

1	主たる工種	舗装工事	
2	単独（追加工事）純工事費	5,624,223	
3	単独（追加工事）　直接工事費	4,301,440	
4	単独（追加工事）　共通仮設費	1,322,783	
5	非対象額計（－）	103,257	
6	管理費区分２，７	0	工場原価
7	管理費区分５	0	一般管理費等のみ対象額
8	管理費区分９	0	間接費非対象額
9	管理費区分Ｔ	103,257	全処分費のうち３％または３０００万円を超える額
10	対象額支給品（＋）	0	
11	無償貸付機械評価額（＋）	0	
12	現場管理費対象純工事費　単独（追加工事）	5,520,966	
13	現工事	0	
14	合算工事	0	
15	処分費等を除く　現場管理費対象純工事費	5,391,923	調整工事入力で使用
16	現工事	0	
17	合算工事	0	
18	率（補正前）　単独（追加工事）	39.39%	
19	現工事	0%	
20	合算工事	0%	
21	施工地域等補正　単独（追加工事）	1.5%	
22	現工事	0%	
23	施工時期補正　冬期：　工期：　日	0%	(0.00)
24	緊急工事補正	0%	
25	砂防・地すべり補正　単独（追加工事）	0%	
26	現工事	0%	
27	率（補正後）	40.89%	
28	計上額　単独（追加工事）	2,257,000	
29	現工事	0	
30	合算工事	0	
31	調整工事計上額	2,257,000	

一般管理費等

事務所名　建設部 建設管理課　　工事番号　　第　回変更

発注年月　　契約区分　　主工種　舗装工事

1	工事原価	7,881,223	
2	純工事費	5,624,223	
3	現場管理費	2,257,000	
4	中止期間中現場維持費	0	
5	工場製作原価	0	
6	非対象額計（－）	103,257	
7	管理費区分９	0	支給品を除く間接費非対象額
8	管理費区分Ｔ	103,257	全処分費のうち３％または３０００万円を超える額
9	一般管理費等対象工事原価　単独（追加工事）	7,777,966	
10	現工事	0	
11	合算工事	0	
12	処分費等を除く　一般管理費等対象工事原価	7,648,923	調整工事入力で使用
13	現工事	0	
14	合算工事	0	
15	率（補正前）　単独（追加工事）	19.4%	
16	現工事	0%	
17	合算工事	0%	
18	前払金支出割合による補正係数　単独（追加工事）	1	
19	現工事	0	
20	財団法人等による補正係数　単独（追加工事）	1	
21	現工事	0	
22	契約保証に係る一般管理費等対象工事原価（当初設計）	7,777,966	
23	契約保証に係る補正値　単独（追加工事）	0.04	契約保証費　3,111 円
24	一般管理費等 率（補正後）	19.44%	
25	計上額　単独（追加工事）	1,508,777	
26	現工事	0	
27	合算工事	0	
28	調整工事計上額	1,508,777	

一式当たり内訳書

第○号内訳書	防寒養生						単価適用年月 歩掛適用年月 労務調整-超過-規制	20160104 20160104 1.000-00000020
名称	規格／条件	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
仮囲い内ジェットヒータ養生、小規模構造物	施工区分＝無筋構造物：	m３	9	5,857	52,713			DX○○○○○ 管理費区分 無 単－　○号
合　計					52,713			
			数量×単価：内訳書では金額は円止（切捨） 諸雑費は計上しない					

上段から 既契約数量／出来高数量／出来高累計／前回残工事／今回残工事

1次単価表

単－○○号

単価適用年月	20160104
歩掛適用年月	20160104
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格	単位	箇所	数量	単価	
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾏﾝﾎｰﾙ	ﾏﾝﾎｰﾙ規格：1号ﾏﾝﾎｰﾙ・嵩下げ、蓋種類：鋳鉄蓋(有材) 【マンホール｜※注意事項　有材使用のため０円計上とする　】			10		28,720 有効数字４桁

名称	規格／条件	単位	数量	単価	金額	摘要
プレキャストマンホール	作業区分＝据付：製品質量＝2000kg/基以下：基礎砕石＝無しまたは円形断面以外： 【マンホール｜※注意事項　有材使用のため０円計上とする　】	基	10	18,960	189,600	CB○○○○○○ 管理費区分 無 単－　○○号
プレキャストマンホール	作業区分＝撤去：製品質量＝2000kg/基以下： ：	基	10	9,504	95,040	CB○○○○○○ 管理費区分 無 単－　○○号
コンクリート管類切断加工		m	18.8	132	2,481.6	DX○○○○○○ 管理費区分 無 単－　○○号
計	数量×単価：１次単価表では金額は、少数３位切捨（２位止）				287,121.6	
単価					28,720	円／箇所
	単位当たり単価：１次単価表には、諸雑費を計上しないため有効数字４桁になるよう５桁目以降を切上げる					

参考資料（1）

単－○○号　　DX○○○○○○

単価適用年月	20160104
歩掛適用年月	20160104
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格	単位	数量	単価
コンクリート管類切断加工		m	100	132

有効数字４桁

名称	規格／条件	単位	数量	単価	金額	摘要
普通作業員	割増対象賃金比 0.908	人	0.59	14,352	8,467	R○○○ 管理費区分 無 割増率 0% 二省労務単価
諸雑費（率＋まるめ）	56%	式	1		4,733	ZS○○○○○○ 管理費区分 無
計					13,200	
単価					132	円／m

数量×単価：参考資料（１）以降では金額は、円止（切捨）

単位当たり単価：参考資料以降
　諸雑費が計上されている歩掛については、単価表の合計金額が、有効数字４桁になるように諸雑費率内で端数を計上します。
　８，４６７×５６％＝４，７４１円　８，４６７＋４，７４１＝１３，２０８円
　諸雑費率内での調整のため８円を減額とし、４，７４１－８＝４，７３３円とします。

　諸雑費が計上されていない歩掛については、有効数字が４桁になるように諸雑費を計上します。